



hina no marebitoのまればと

と閃き、友人と  
JR高円寺駅近く  
の物件を探す。  
そんな時、ネッ  
トの世界の有名  
人、えらいてん  
ちよう(えらて  
ん)とカイリュウ

2年前、上智大学4年生だった池田達也は就活で20社弱から不採用となり、「働けない自分は生きていくのに向いていない、死にたい」を口にし、「眠剤を飲んで寝て、起きたらまた眠剤を飲む」生活を送った。そんな時、京都大学卒の「元日本一有名な二ト」で知られるPhaの著書『持たない幸福論』と出会い、死ぬのを思いとどまる。就職し働いて結婚、家を買う、そんなレールの上に自分の幸せはないと気づいたからだ。「ただPhaさんは特殊。自分は生きるために喫茶店だ」と閃き、友人と

## 鬱からのしよぼくない経営

しよぼい喫茶店店主 池田達也氏 (25)



木村のTwitterをフォロー。木村が「えらてんさんメソッド、都内開業で素直そうな子なら普通に食いつぶぐれないと思う。100万円くらいなら面倒見るからとりあえず挑戦する姿見たい」とつぶやく。池田が「詳しいことはよくわかりませんが、仮想通貨で稼ぎまくった人、100万くらい僕にください。しよぼい喫茶店やります」と応じた。横浜のバーで初顔合わせし、えらてんと木村が「固定費を抑えた方がいい」と助言、池田が「物件を探し直します」と言い話が成立。

西武線沿線に絞ると「飲食、居抜きで1カ月10万円以下」の物件が新井薬師前駅徒歩5分の雑居ビル2階で見つかる。店名はえらてんの「しよぼい起業」にあやかり「しよぼい喫茶店(しよぼ喫)」とし、備品はAmazonほしい物リストで呼びかけほぼ入手。Twitterとブログに「働きたいです」と手を挙げる女性も出現。彼女は東京での看護

師3年間が激務で精神的にも肉体的にも限界を超え鬱病と診断され郷里鹿児島で静養していた。「おりんさんはツイッターのアカウントを開設し、2月に上京してくれました」。昨年3月1日のしよぼ喫茶店ではSNSの前宣伝が効き、客が途切れることがなかった。中野経済新聞の記事は300人以上がTwitter、Facebookで4000回以上シェア、Yahoo!ニュースにも転載。当月の売上げは55万円で35万円が残る。その後、客足が遠のきモーニングサービスを試みるも失敗。夜の日替わり店長制が当たる。「昨秋おりんさんと結婚、今年3月に元日替わり店長へ100万円を渡し恩送り、4月に百万年書房から『しよぼい喫茶店の本』を上梓しました」。百万円と百万年。Amazonカスタムレビューは4.8と高い。「就活はダメでした。が、喫茶店に踏み切り良かったです」。長女も誕生、今は破顔一笑だ。(文中敬称略)